

# 卒業生からのメッセージ

郡山 真緒

Mao KORIYAMA

若松学園高稜高等学校

Koryo High School

西田 貴史

Takashi NISHIDA

クリックエンターテイメント株式会社

ClickEntertainment inc.

## 1. 在校生の皆様へ(郡山 真緒)

初めまして、郡山真緒と申します。

私は現在、若松学園高稜高等学校で情報・数学の非常勤講師として勤務しています。主に、資格情報の授業を担当しています。生徒の資格取得のために、どうやったら生徒にわかりやすく説明し理解させることができるのか、どうやったら合格率を上げられるのかを日々勉強する毎日です。

さて「卒業生からのメッセージ」と言うことで、参考になるかはわかりませんが、私の学生生活、今思っていることについて書かせていただきたいと思います。

私の学生生活はとても充実していました。どんな生徒に対しても熱心に教えてくださる先生や、困った時すぐに手を差し伸べてくれる友達に恵まれて、大学4年間を謳歌することができました。

高校で数学教師になりたいと思い、九州産業大学の情報科学部に入学しました。高校では、普通科だったので、パソコンを扱う機会が少なく、タイピングから苦戦していました。もちろんプログラミングなどに触れる機会もなかったので、大学での授業はとても苦痛でした(笑)。数学の教員免許を取得するのが目標だったので、パソコン関係は自分には関係ないだろうと思い、手を抜いていたのが本音です。教師という立場に立った今わかることですが、とてももったいない時間を過ごしていたなと感じています。

学生という時間は、遊ぶ時間もですが、勉強する時間もたくさん取れる時です。社会人になってわかったのですが、資格が取りたいと思っても、自分の仕事に追われ、なかなかまとめて勉強の時間を取れないのが現実です。どんな道に進むか決まっている人も漠然としている人も勉強をする時間を持てる今、勉強をして、1つでも多くの資格を取ることをお勧めします。私の教えている資格情報コースの生徒は、3年生になると、進学よりも就職をする子が多くいます。資格を多く取得している生徒は、就職先も決まっています。高

校で怠けてしまった生徒は苦戦しています。また、卒業生に話を聞くと、自分の思っていた仕事とは違った・・・という子も多くいます。就職する先が自分に合っているか、いないかは働いてみないとわからないものです。仕事を辞めてしまった卒業生が、「先生が言っていた通り、高校の頃にちゃんと勉強して資格を取っておけばよかった。」と言ってきた時、今教えている子ども達に同じ後悔をさせたくないと強く思いました。

私も教員はパソコンとは無縁だろうと思っていましたが、実際に働いてみてそうでもないことがわかりました。私の場合は情報の授業も教えているので特殊ですが、情報の授業で「情報演習」という授業があります。大学ほど本格的にはやりませんが、プログラミングの授業を取り入れています。また、学校のホームページ作成や、成績処理にはパソコンが必須です。将来就きたい仕事にプログラミングは関係ないし・・・と思っても、意外と使うものです。「先生は情報科学部だったから、プログラミングはいけるよね？」と言われると、あ〜もつとちゃんと勉強しておけばよかった。といつも後悔します。数学教師になる！と思っただけでしたが、まさか自分が主として、情報を教えるとは思っていませんでした。将来はこの仕事をする！と思っただけでも、思っていたこととは違う仕事をすることは多々あります。どんな仕事に就くにしても、勉強の時間を多くとれるのは今しかないので、教えてくれる先生や支えてくれる仲間がいるうちに一生懸命勉強して、たくさんの知識を得てください。いつかの将来のために、今が頑張り時です。勉強の話ばかりしてしまいましたが、息抜きして遊べるのも今のうちなので、悔いの残らないように、後悔しないような学生生活を送ってください。

## 著者紹介

郡山 真緒(こおりやま まお)

平成 26 年 3 月九州産業大学情報科学部情報科学科卒業 仲研究室所属

## 2. 在校生の皆様へ(西田 貴史)

### 【在校生の皆さんへ】

在学生の皆様、初めまして、クリックエンターテインメント株式会社の西田と申します。私が九州産業大学を卒業して、もうすぐ4年目を迎えようとしています。

### 【大学生～今】

皆さんは大学生生活をどのように過ごしていますか。私が大学生の頃はエンジニアとして働くイメージが湧いておらず不安でした。プログラミングの授業ですら、ついていけない事があり"自分ではプログラマーにはなれない、向いていない"と感じる事が増えていきました。それでも情報を学べる今の環境を活かそうと、なんとか福岡のIT企業へ就職しました。

社会人1年目は、現場の業務を覚えるのに必死で、先輩達の立ち居振る舞いに圧倒されていました。

2年目は、業務に慣れてきて、成長を実感できるようになりました。

そして3年目を迎えた今では「エンジニアとして納得のいく成果を出したい」そう考えて仕事をしています。

それは、未熟だった私が「エンジニアとして働く事」に拘り続けた結果だと考えています。

### 【講義の話】

大学の講義で学んでいる内容は、当時よくわかっていない部分もありました。しかし社会に出てからは、講義によって培われた基礎のおかげで現場の力をどんどん吸収する事ができました。学生に戻れるなら、もう一度受けたい授業ばかりです。

### 【学生時代の不安】

皆さんは「エンジニアとして働く事」のイメージが湧きますか？ 良いも悪いも経験しないとわかりません。不安な人は、現場のイメージをしっかりと掴むために、インターンシップをおすすめします。現場を知り、一気にレベルアップした人もいました。

そして卒業生が大学に来る機会も増えています、是非に話を聞いてみてください、現場の話喜んでさせて頂きます。

### 【現場の話】

私は Web エンジニアとして仕事をしています。業務内容は「業務効率化システムの開発」で、福岡の中小企業が顧客です。顧客から業務の問題点を聞いて、効率化できるシステムを提案し、開発します。「人間がやらなくても済む」作業に時間をかけてやっている企業が

たくさんあります。そこを IT で課題解決できるのはエンジニアの醍醐味です。

難しいのは、顧客のイメージするシステムと自分の提案にギャップを感じる時、そして納期との闘いです。それでも様々な業界の事情を知りながら、自分の考えを形にするこの仕事は最高に楽しいと感じています。

### 【最後に】

システムエンジニア(プログラマー)は今や社会にとって無くてはならない人材です。

皆さんが活躍できる場所は、日本だけでなく世界中にあります。

大学生活の過ごし方は決まっていますか？

とりあえず、人に自慢できるくらい遊んで、好きな事をしてください。

できれば学生の間は「自分なりに興味のある分野」にたくさん触れてください。

人生を楽しく生きるために「好きな事」、「作りたい物」、「やりたい仕事」、「関わりたい人」、「自分の活躍できるシーン」、「自分の理想の職場」を必死で考えてください。

就活の時期になったら面接では、自信を持って自分の好きな事を伝えてください。

好きな事を好きなだけやる、考えただけで楽しくなってきますね。

### 著者紹介

西田 貴史(にしだ たかし)

平成 25 年 3 月九州産業大学情報科学部情報科学科卒業 米元研究室所属